

船舶事故等調査報告書

平成26年4月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013神第170号
事故等種類	衝突
発生日時	平成25年11月28日 07時43分ごろ
発生場所	富山県伏木富山港の新湊区北1号岸壁付近 富山県射水市所在の新湊西防波堤灯台から真方位220° 1,270m付近 (概位 北緯36°46.4' 東経137°06.3')
事故等調査の経過	平成25年11月29日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A コンテナ船 <small>オーエスジー ビューテック</small> O S G BEAUTEC（中華人民共和国香港特別行政区籍）、7,464トン 9361275（IMO番号）、BEAUTEC MARITIME LTD B 自動車運搬船 <small>オーシャン プライド</small> OCEAN PRIDE（大韓民国籍）、6,542トン 8612988（IMO番号）、DU WON SHIPPING CO., LTD
乗組員等に関する情報	A 船長A（中華人民共和国籍）、一級（中華人民共和国香港特別行政区発給） B 船長B（大韓民国籍）、免状不詳
死傷者等	なし
損傷	A 左舷船首部に破口、凹損及び擦過傷 B 右舷船尾部ハンドレールに曲損 岸壁 車止め3か所が破損
事故等の経過	A船は、船長Aほか16人が乗り組み、伏木富山港新湊区北1号岸壁（以下「1号岸壁」という。）に右舷着けで停泊中、B船は、船長Bほか14人が乗り組み、1号岸壁の西側に隣接する伏木富山港新湊区北2号岸壁（以下「2号岸壁」という。）に左舷着けする予定で2号岸壁に向けて西進中、右舷方の1号岸壁に寄せられ、平成25年11月28日07時43分ごろ、1号岸壁付近において、A船の左舷船首部とB船の右舷船尾端とが衝突した。 B船は、衝突後、1号岸壁に右舷船尾端が接触した後、作業船の支援を受け、約1時間後に2号岸壁に左舷着けした。
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 南、風力 5、視界 良好 海象：下げ潮の初期
その他の事項	A船は、11月28日06時36分ごろから1号岸壁に着岸していた。 B船は、伏木富山港に月に約5回入港する定期船であり、本事故当

	<p>時は空船であった。また、船長Bは、前航海まで一等航海士として乗船しており、船長として入港するのは本事故当時が初めてであった。</p> <p>B船は、1号岸壁南方沖で南風を左舷正横方から受け、右舷方の1号岸壁に寄せられていた。</p>
<p>分析</p> <p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>A なし、B あり A なし、B 不明 A なし、B あり</p> <p>A船は、伏木富山港新湊区の1号岸壁に右舷着けで停泊中、B船は、同区の2号岸壁に向けて西進中、B船が左舷方からの南風によって圧流されたことから、A船と衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、伏木富山港新湊区において、A船が1号岸壁に右舷着けで停泊中、B船が2号岸壁に向けて西進中、B船が左舷方からの南風によって圧流されたため、B船とA船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>参考</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着岸操船に当たる場合、船型、操縦性能及び喫水の状況を考え、風により、圧流される量及び方向を把握し、余裕のある操船計画を立てること。 ・必要に応じ、事前にえい船を依頼して操船の支援を受けるなどし、圧流の防止策を講じておくこと。